

[様式 2]

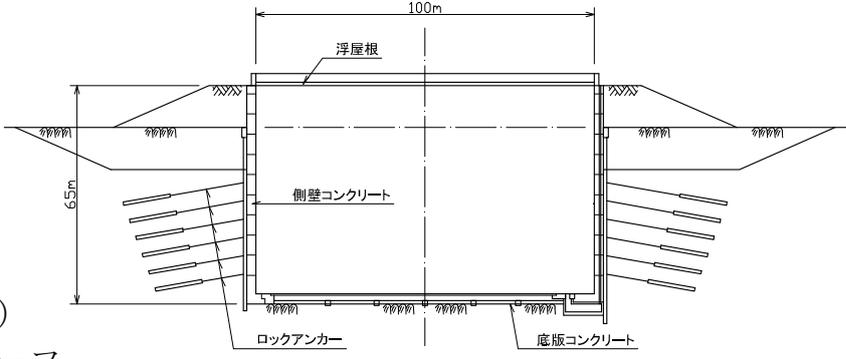
提案書	
技術分野	① 汚染水貯蔵（タンク等）
提案件名	汚染水貯蔵大規模地中タンクの構築
提案者	鹿島建設株式会社
<p>1. 技術等の概要（特徴、仕様、性能、保有者など）</p> <p>福島第一原子力発電所敷地内に、汚染水貯蔵大規模地中タンク（50 万 m³）を 2 基構築し、合計 100 万 m³の汚染水を貯蔵する。</p> <p>(1) 目的</p> <p>現在、汚染水及び処理水はボルト方式及び溶接方式のタンクに貯蔵されている。本提案は、汚染水貯蔵の重層的対策として、大量の処理水を長期安定的に敷地内に貯蔵することを目的とする。</p> <p>(2) 特徴</p> <p>限られた敷地に対する貯蔵効率を高めるため、大型の地中タンク（地表からの開削方式）を構築する。早期着工が必要であること及び貯蔵期間が長期にわたることを踏まえ、液体の長期間保管実績のある原油備蓄地中タンク方式を適用する。以下に、概要（例）を示す。詳細は現地条件等により修正する。</p>	
<p>【地中タンク概要（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直径 100m 深さ 65m 躯体：RC 構造 （止水：ライニングプレート） 屋根：鋼製フローティングルーフ （浮屋根） 	
<p>【地中タンク設置位置（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平面位置：35m 盤 *設置位置、作業ヤード等は現地条件を踏まえ決定する。 	

図1 汚染水貯蔵大規模地中タンク概要

図2 汚染水貯蔵大規模地中タンク配置例（平面）

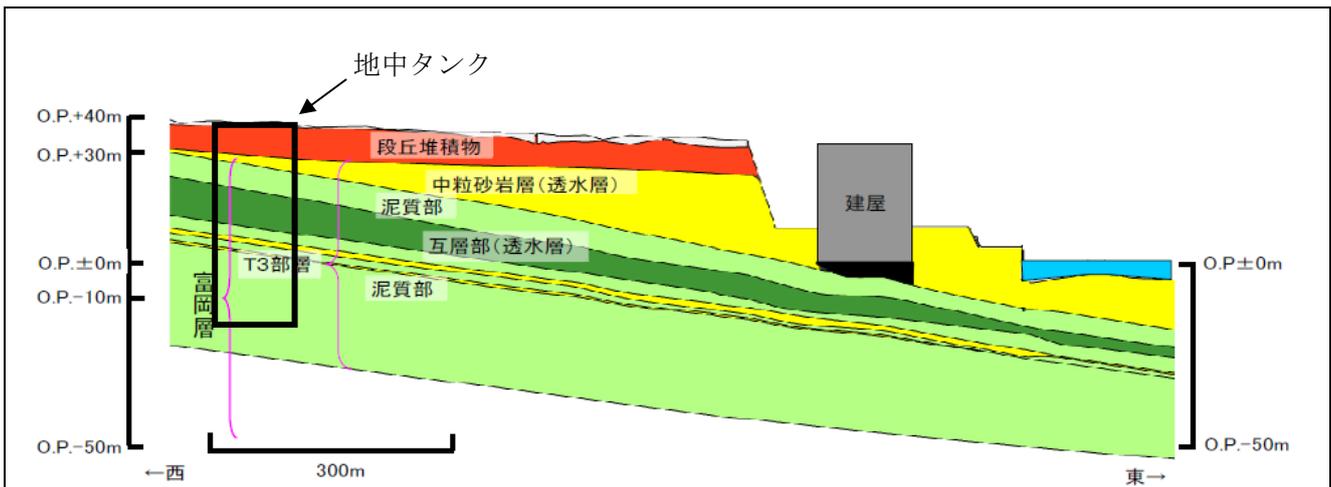


図3 汚染水貯蔵大規模地中タンク配置例（断面）

【工程】

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目以降
調査・設計	■				
準備工		■			
掘削工		■	■		
内部構築			■	■	
設備工					■
運用					■

2. 備考（以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします）

- ・開発・実用化の状況（国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む）
最大 35.3 万 k1（内径：97m、深さ：51.5m）の原油タンクの実施例がある

（備考）技術提案募集の内容（6分野）

- ① 汚染水貯蔵（タンク等）
- ② 汚染水処理（トリチウム処理等）
- ③ 港湾内の海水の浄化（海水中の放射性物質の除去等）
- ④ 建屋内の汚染水管理（建屋内止水、地盤改良等）
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理（遮水壁、フェーシング等）
- ⑥ 地下水等の挙動把握（地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等）